Telecom New Service Association

テレコム･ニューサービス研究会
2012 年度

ご挨拶

テレコム・ニューサービス研究会は１９９３年設立以来、時代の変化に応じたテーマを取り上げながら、テレコム周辺の新しいサービス事業やそのインフラ運用・活用等のさらに新しい技術やアプリケーション等々、サービス分野の話題を多く取り上げてきました。

これらの活動はすべてビジネス活動や技術、サービスなどの新しい情報に関する”活きたヒューマン・コミュニケーションの場”の提供という基本理念に基づいて実施しており、例会も会員のみならず広く一般からのご参加者も得て、多くの方がご参加いただけるオープンなセミナーや視察見学会として実施いたします。

本年度は、昨年の大震災の影響や、原発事故、歴史的な円高、欧州信用不安などまだまだ経営環境も厳しい中ではありますが、この機を生かし、皆様の要求に応え、ＩＴが果たす大きな役割を認識したうえで、環境・エネルギーやソーシャルメディアなどより新しい話題などを取り上げ、また都度関連機関との連携も深めながら、変革の時代に取り組む会員の皆様及び一般関係者へ向けた、実質的な解決策とオープンな交流の場の提供を目指します。

不況期の今こそ相互の情報交換が必要となります。ご賛同いただける多くの方々のご理解とご支援のもと開かれた研究会の運営を継続していきたいと考えますのでよろしくお願い申し上げます。

テレコム･ニューサービス研究会

2012年3月

設立・経緯

テレコム・ニューサービス研究会設立経緯

１９９３年５月・・・情報通信、 マルチメディア等に関するニュービジネス・サービス分野に関心をもたれる方 々の情報交換と啓蒙の場として任意の研究会組織として発足。
１９９５年４月・・・会の組織の強化、会員制度の充実をすすめ、 年会費制に移行さらに会員相互の情報交換をより活発化することを目的に 電子メールの利用インターネットの活用などもいち早く始める。
２０００年・・・２１世紀に入り、例会セミナーなどオープンなイベント活動を通じて、外部への啓蒙活動を一層強化し現在に至る。
２００２年・・・ビジター登録会員が１２０名超となり、増加傾向。４月よりは新役員として元郵政省技術総括審議官　甕昭男氏（後述）を顧問に招聘し組織を強化。同時に新たなコミュニケーションの場として先端フォーラムを追加。
２００５年・・・２セミナー＋名刺交換会形式へ漸次移行
２００７年・・・吉崎英雄氏（現・フジテレビ常任顧問）を研究会顧問として迎える。
２００８年・・・・テレコム研ブログ開設し、会員相互及び講師陣のコラムを設ける
２０１１年・・・・
２０１２年・・・・役員等の世代交代を予定

役員紹介

名誉会長:金子俊明

**（元郵政省、通信放送機構・理事を経て、アステル東京副社長、
（株）日本オンライン整備　代表取締役専務、東京ユニバーサルサービス（株）
代表取締役社長、宇宙航空研究開発機構(JAXA)、現在に至る）**

会長：田中明

（元NEC技師長、CRC総合研究所顧問を経て中堅数社の顧問等）

顧問：甕　昭男（もたい　あきお）
（財）テレコムエンジニアリングセンター（TELEC）　理事長
YRP研究開発推進協会会長

1987年郵政省技術開発企画課長、1989年移動通信課長、1991年計画課長
1993年電波部長、1996年技術総括審議官、1999年放送大学学園
理事を経て現在テレビ朝日取締役、常務取締役を歴任。2006 年 9 月現職。
その他
・中央コリドー高速通信実験プロジェクト推進協議会副会長
・西東京市地域情報化計画策定審議会会長

会の運営、組織、実績及び会員

1. 開催日時 例会セミナー:隔月年6回(偶数月)第2木曜日　午後13時半より16時半
(懇親会開催日は15:00～19:00ごろまで)
2. 開催形式　例会は原則2名の講師を招聘してのセミナーと質疑からなる。
(年1回程度はセミナー終了後にパーティ形式で相互親睦会を開催)
＊参加対象は正会員、ビジター会員・BINET関連会員さらに一般より参加を募る。
3. 会の構成

- 名誉会長:金子俊明(元・通信放送機構・理事)
- 会長:　田中　明　(元・NEC　)
- 顧問:(財)テレコム・エンジニアリングセンター　理事長　甕昭男　(元郵政省技術総括審議官)
- 顧問:
- ＊幹事会・・正会員有志による幹事会を併設
個人会員・特別会員・名誉会員　(別途特別協議による)
- ビジター会員・関連会員・賛助会員
- その他当該分野に関心ある一般参加者
- 事務局:　(株)ビジネスインテリジェンスネットワーク(BINET)　海老塚幹男

4. 年間会費

1)　正会員:￥126, 000(消費税込み)
(会費は原則4月からの1年分を事前に一括納入。 入会時期により後期一括方式もございます)
＊正会員の特典
(年間6回の例会セミナー及び適宜開催の情報交換会へ1名無料で参加できます。)
2名以上の参加の場合も1名につき半額程度の安価な参加費にて参加可能です。
その他関連例会資料のダウンロードなど特典がございます。)
＊BINETの運営する他のセミナー等への大幅割引参加が可能。(セミナーは通例　一般の半額)
2)　個人会員・名誉会員・特別会員(個人の資格で会の運営にご協力いただく、又はかつて研究会の活動に貢献していただいた会員。会費は別途協議する)
3)ビジター会員:所定のビジター登録をしていただいて例会セミナー開催のつど有料で参加される会員、BINET関連会員もこれに準じる。(原則2回以上例会へ参加経験要)
セミナー参加費は10%をメドに優遇される。
4)賛助会員・会の運営にご協力いただく維持会員・複数名登録可能・・会費は別途協議
5)一般:　メール及びFAX、DM等で一般的にイベントを知り参加される一般参加者、
ただし2回目以降は個人資格でビジター会員としてご登録できます。
参加費は例会セミナー:　￥21, 000／名　(消費税込み)　いずれも代理出席は可能です

正会員一覧（2011 年度）
(会社名 五十音順)

(株)コンピュータシステム研究所　高野栄昭(幹事)　(財)テレコムエンジニアリングセンター　甕昭男(顧問)
東京アプリケーションシステム(株)　赤松元　(幹事長)　NECソフト(株)佐々木浩一
(株)ビッツ　北原愼庸　　田中明（会長）　(株)ブライセン　藤木優　(株)フリーラインズ　田口　篤　(幹事)
(株)ビジネスインテリジェンスネットワーク　(事務局)

* ビジター登録会員
ビジター会員とは研究会イベントにご参加いただいたことのある方、あるいはかつて会員であった方 講演等でご協力いただいた方々が優先的に選定されています。あくまで個人資格で登録されています。 メール会員申し込みで所定事項を登録していただいた方も資格を得ることができます。
現在 （100 社以上）464 人がビジター会員として登録されています。 （as of Feb. 2011）

(株)NTTドコモ	(株)シマンテック
(株)グッドコミュニケーションズ	シスコシステムズ(株)
(株)テレビ神奈川	住友電気工業株式会社
日本無線株式会社	株式会社ブロードネットマックス
株式会社トヨタ IT 開発センター	日本電気株式会社
共同印刷株式会社	(株)オーク情報システム
日本無線株式会社	(株)リヴシー
(株)協和エクシオ	(株)アップルドクター
京浜急行電鉄(株)	富士通(株)
東京医科歯科大学	株式会社ワイズマン
富士通テン株式会社	(株)デジタルハンズ
オー・エイ・エス(株)	テレビ東京ブロードバンド株式会社
住友電工ネットワークス(株)	(株)KDDI総研
(株)毎日放送	(株)ネクステック
電気興業(株)	マクターエンジニアリング(株)
TOKYO MX	NECシステムテクノロジー(株)
(株)TBS テレビ	ニフティ(株)
(株)大林組	カスタムテクノロジー(株)
日本テレビ放送網(株)	九州電力株式会社
NHK放送技術研究所	日経BP社
パナソニック電工(株)	(株)日立情報システムズ
富士通ネットワークソリューションズ株式会社	NTTコミュニケーションズ(株)

メディア241 ㈱デジタルメディアプロ (株)ホンダエレシス	(株)セールスフォース･ドットコム (KDDI 株式会社

最近好評だったテーマ　（外部からの参加者が多かった）

2011 年度
「災害対策、電力不足、クラウド対応！これからのデータセンター」

「スマート関連ビジネスへの取り組み」

2010 年度

「総務省のスマート・クラウド戦略と霞が関クラウド」
「日本版 EHR と地域医療連携システム」「ホワイトスペース活用施策とエリアワンセグシステム」「クラウドで大きく変わるＩＣＴとクラウド２の世界」

2009 年度

「スマートフォン Android が導く革命の波」「e-Learning の最新トレンド」
「クラウドコンピューティング」

2008 年度

「JCOM の技術戦略と JCOM メディアセンター視察」「ユビキタス社会を支える RFID 技術と最近の応用事例ご紹介」「オープン化／多様化するモバイル産業」

2007 年度

「Ｗｅｂ２．０時代を読み解く」「湾岸スタジオに見るフジテレビの戦略」
「ブローバンドモバイルの実現に向けて」「医療 IT の最新の動向」

2006 年度

「ヘルスケア市場のＩＴ導入の現状」
「流通システム標準化の動向と経産省の流通・物流効率化政策」

その他研究会の実績等　詳細は下記ＵＲＬの研究会ホームページをご覧下さい
http://www.binet.co.jp/telcom/